

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人

飯南町社会福祉協議会

平成30年度 事業報告書目次

【全体】

平成30年度事業活動概要
～はじめに～

1項～ 3項

<各課からの事業報告>

【総務課】

1. 諸会議	4頁～ 7項
2. 諸規定の整備	7項
3. 地域公益活動	7頁
4. 情報開示の状況	7項
5. 自主財源の確保	7頁
6. 公的財源の確保	7頁
7. 福祉・介護人材の安定的な確保と定着	7頁
8. 基金活用による地域住民への還元	7頁～ 8項
9. 職員育成研修と資格取得の推進	8頁
10. 職員の福利厚生	9項
11. 苦情解決	9項
12. 外部研修・各会議への参加	9項～ 10項
13. その他	10項
14. 島根県共同募金会 飯南町共同募金委員会	10頁～ 11項
15. 日本赤十字社島根県支部 飯南町分区	11頁
16. 苦情受付	11頁

【地域福祉課】

1. 小地域福祉活動推進事業	12頁～ 14項
2. 総合相談事業	14頁
3. 日常生活自立支援事業・法人後見事業	14頁～ 15頁
4. ボランティアセンター事業	15頁～ 16項
5. ふれあいいきいきサロン事業	16頁～ 17頁
6. いーなんシルバーおたすけ隊運営事業	17頁～ 18項
7. 食の自立支援事業（配食サービス）	18頁～ 19頁
8. 福祉教育推進事業	19頁～ 21頁
9. 地域福祉諸団体との連携事業	21頁～ 23頁
10. 単身高齢者、高齢者世帯事業	23頁
11. 生活福祉資金・民生融金相談受付・貸付事業	24頁～ 25頁
12. 出張及び研修	25頁
13. 苦情受付	25頁

【在宅福祉課（通所介護事業係）】

1. 介護保険事業	26頁～ 27頁
2. 障がい者自立総合支援法による事業	27頁
3. 高齢者生活福祉センター管理運営事業	28頁

4. 研修	28頁
5. 会議	28頁～29項
6. 交流事業・実習等受入れ	29項
7. 避難訓練	29項
8. 苦情受付	29頁
9. 利用状況	29項

【在宅福祉課（訪問介護事業係）】

1. 主な事業内容	29頁～30項
2. 利用実績	31頁～32頁
3. 職員の健康管理	32頁
4. 苦情受付	32頁
5. 訪問利用状況	32頁

【あかぎの里】

1. 利用実績	33頁～34項
2. 主な状況報告	34頁
3. 会議	34頁～35項
4. 地域交流・ボランティア受け入れ	35項
5. 実習等受け入れ	35項
6. 行事等	35項
7. 内部研修	35項～36項
8. 研修・出張・会議参加状況	36項～37項
9. 監査等	37項
9. 苦情受付	37頁～38項

【居宅支援課】

1. 職員体制	38頁
2. 利用状況	38頁～39頁
3. 運営状況	39頁～40項
4. 事業状況	40頁～41項
5. 苦情受付	41頁

【総合相談業務（包括支援センターブランチ業務）】

1. 事業状況	41頁～43項
---------	---------

【保育所】

1. 平成30年度児童数異動一覧	47頁
2. 実施した主な行事	43頁～44項
3. 職員研修会の参加	44頁～45項
4. 各種会議の開催	45頁
5. 子育て支援センター活動報告	45頁
6. ファミリーサポートセンター	46頁
7. 保育士確保対策事業	46項
8. 苦情受付	46頁

事業報告 平成30年度の事業活動概要

～はじめに～

法人運営部門では、平成29年度から完全施行された「社会福祉法改正」からすでに2年が経過したところですが、社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の確保、財務規律の強化や地域における公益的な取り組みを実施する責務など、社会福祉法人としての公益性や公共性のある活動が今求められており、引き続きこのことに対応すべく事業運営を行いました。

また、社協運営における組織体制の強化に向けて行政等関係機関と連携し、学校訪問、就職フェアや福祉のお仕事相談会、しまね企業セミナー等へ積極的に参加することで情報収集を行い人材確保に努めた結果、平成30年度は介護職2名、保育士2名、看護師1名、調理師1名の採用を行いました。

さらに、内部・外部（初任者・キャリアパス）研修の受講を進めることで、人材育成・定着に向けて取り組み、サービスの質の向上に努めました。

地域福祉推進部門では、地域福祉を日々の暮らしづくりに繋ぐ5ヶ年間の計画『地域福祉活動計画（平成30年度～34年度）』を、12名の住民の皆様にご協力いただき平成30年3月に策定しました。この活動計画を事業計画に反映し、各関係機関と連携を図りながら地域づくりを一体的に進めました。

社協は平成29年度より、飯南町から生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター業務を受託しており、福祉合同会議や町内のサロンや各会合等で福祉の重要性を伝え、支え合いの必要性の理解から、身近な地域での相互の支え合いが継続し、また新たな支援体制ができていくきっかけづくりを行っています。そのために「地域ニーズの把握と資源の状況の見える化」「地縁組織等、多様な主体への協力依頼等の働きかけ」「関係者のネットワーク化」「ニーズとサービスのマッチング」等を継続して行いました。

また今年度から2年間「ふくしの学び合い」推進助成事業を島根県社協から受け、町内保育所・学校では、講義・交流・体験を通じながら様々な生活や生き方に気づき、他者の気持ちに共感できる力を育むことをねらいとした福祉教育を各関係機関と協働しながら行いました。地域においては、小地域の中で日常の見守り体制が確立でき、大雪、大雨、地震等の自然災害時にも地域住民の生命を守る行動ができるよう情報提供や意見交換を通し具現化できるよう進めました。

昨年、島根県内では4月に大田市を中心とする島根県西部地震が発生し、町内においても角井・志津見地区において被害がありました。また、7月には西日本を中心とした豪雨災害が発生し、当社協職員を各災害ボランティアセンターに派遣することで支援を行いました。全国各地においては多くの災害が発生し、飯南町においても、いっつどのような災害が発生してもおかしくない状況であると実感し、これからの災害支援について考えるため各地域において開催された防災研修会等にも積極的に参加し、

今後における取り組みについての参考にしました。

在宅・施設サービス部門では、今年度「あかぎの里」について、昨年度（平成29年度）予定した職員配置ができなかったことから長期入所2床、短期入所を1/2に利用制限を行ったことで利用者の皆さんや家族の皆さんにご迷惑をおかけしました。また、大幅な稼働率の減少から居宅介護支援事業への繰入額を含め積立金を4,190千円取り崩し補填する結果となり、経営にも大きな影響がありました。

この反省から、今年度（平成30年度）においては内部異動及び新規採用を含め職員体制をととのえた結果、平成30年5月には短期入所、7月には長期入所の利用制限を解除することができました。特に短期入所の今年度月別平均稼働率は、前年度52.9%から71.1%となり長期入所の年度月別平均稼働率は、前年度92.8%から94.8%に回復し、居宅支援事業への繰り入れを含め収支差額は、ほぼ同額となりました。

一方、通所介護事業については、「あかぎの里」の短期入所の稼働率が回復したことで介護利用者数が減少し、事業対象者数が増加する状況となりました。月別平均利用率は前年度60.6%から53.2%となり介護保険収入が減少、収支差額がマイナスとなり積立金を5,950千円取り崩し、補填する結果となりました。

また、訪問介護事業についても、利用者の入院・退院を繰り替えされるケースも多くあったことや死亡などの理由で身体介護、生活援助、身体介護+生活援助件数等が前年度件数からそれぞれ減少し、訪問回数が大きく減少したことで介護保険収入が減少し、積立金を898千円取り崩し補填しました。

居宅支援課では、「あかぎの里」の入所制限が解除されましたが、長期入所においては町内福祉施設の入所制限もある中で、他の施設も動きが少なく、通所系サービスの希望が多くありました。色々な地域の声がある中、在宅が困難な方はやむを得ず町外の施設を紹介し入所されるケースもありました。マネジメントの件数は前年度より減少しました。

保育所部門では、町内4保育所の保育業務について、町と連携を図りながら保育の充実に向けて取り組みました。

特に、平成30年度から新たに取り組みを始めた「自然体験活動事業」（森の幼稚園）については、町の強い後押しもあり、ネイチャーガイドの方にご協力いただいて、年度内に軌道にのって来たところです。各保育所が月1回程度、ネイチャーガイドの方に来ていただき、これまでも実施してきた自然体験活動（散歩、県民の森行き、川遊び、雪遊び等）を行い、自然に関する知識を遊びながら学ぶといった活動をする中で、児童も職員も、自然に対する知識を深めていくことができました。今後も活動を継続し、児童の自然に対する学びを更に深めてまいります。

また、現在も懸案事項であります保育所の低月例児（10ヶ月未満）の受け入れ実施については、継続して協議を重ねておりますが、受け入れに必要な施設はすでに改修等を行い整っているものの、受け入れ態勢に必要な人材の確保が難しく、特に保育士については、県内・県外の保育士養成学校7校に町住民課や地域振興課人材確保支援センター担当職員と訪問し募集を行ったり、人材確保支援センターと連携し、保育体験事業を実施するなど積極的に取り組みましたが、通常保育を行う保育士数は確保できたものの、低月例児の受け入れが整うまでの保育士の確保が難しく、平成31年度からの実施を見送る結果となりました。今後も、保育士確保に重点を置き環境整備や職員研修等を行い低月齢児の早期受け入れと、スムーズな対応の実現に向けて努

力してまいります。

今日の子どもと子育て家庭をめぐる環境は、核家族化がすすみ女性の社会参加の増加などにより社会環境が大きく変化する中、保育ニーズも多様化しています。各保育所においては、通常業務に加え、地域における子育て支援の役割を担い、子育てに不安を抱く親への育児相談や情報提供など家庭の支援や、乳幼児の子どもと子どもを持つ親が交流する「子育て支援センター」と、地域の子育て支援を目的として子どもを預けたい方と子どもを預かりたい方が会員となり、子育て援助活動を行う「ファミリー・サポート・センター」の運営にも継続して努めました。

<各課からの事業報告>

I. 総務課

1. 諸会議

(1) 理事会等の開催

回 数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回 理事会	平成30年5月28日 来島高齢者生活福祉センター 理事 12名／14名中 監事 3名／3名中	報告事項 ・専決予算の報告について ・評議員選任・解任委員会の開催結果について ・飯南町地域福祉活動計画（平成30年度～平成34年度）策定の報告について 議案 ・平成29年度事業報告の承認について ・平成29年度決算の承認について（監査報告） ・平成30年度資金収支補正予算（第1回）について ・平成30年度定時評議員会の開催について ・飯南町保育所管理運営規程の一部改正について
第2回 理事会	平成30年10月26日 来島高齢者生活福祉センター 理事 13名／14名中 監事 2名／3名中	報告事項 ・職務執行状況報告について ・平成30年度 中間決算及び上半期事業報告について（監査報告） 議案 ・平成30年度資金収支補正予算（第2回）について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・平成30年度第2回評議員会の開催について
第3回 理事会	平成31年1月22日 来島高齢者生活福祉センター 理事 14名／14名中 監事 3名／3名中	報告事項 ・友愛会居宅介護支援事業所の休止に伴う社協の対応について ・保育所への町看護師の派遣について ・評議員選任・解任委員会の開催結果について 議案 ・平成30年度資金収支補正予算（第3回）について ・平成30年度 第3回評議員会の開催について
第4回 理事会	平成31年3月21日 来島高齢者生活福祉センター 理事 13名／14名 監事 3名／3名中	報告事項 ・会長及び常務理事の職務執行状況について 議案 ・平成30年度資金収支補正予算（第4回）について ・平成31年度 事業計画について ・平成31年度 当初予算について ・常務理事の選定について

		・事務局長の任命について ・評議員選任・解任委員会設置及び運営細則の一部改正について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・就業規則の一部改正について ・嘱託職員就業細則の一部改正について ・臨時及びパートタイム職員就業細則の一部改正について ・平成30年度第4回評議員会の開催について
--	--	---

回 数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回 理事会 全 員 協議会	平成30年6月26日 来島高齢者生活福祉センター 理事 12名／14名中 監事 3名／3名中	議題 ・これからの社協活動の方向性を考える
第2回 理事会 全 員 協議会	平成30年8月27日 来島高齢者生活福祉センター 理事 13名／14名中 監事 3名／3名中	議題 ・これからの社協活動の方向性を考える (継続協議)
第3回 理事会 全 員 協議会	平成30年12月17日 来島高齢者生活福祉センター 理事 14名／14名中 監事 1名／3名中	演題 ・働き方改革について 社会保険労務士法人 長廻事務所 長廻佳弘氏・森協和恵氏

(2) 評議員会の開催

回 数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	平成30年6月12日 来島高齢者生活福祉センター 評議員 17名／25名中 監事 3名／3名中	報告 ・専決予算の報告について ・飯南町地域福祉活動計画（平成30年度～平成34年度）策定の報告について 議案 ・平成29年度事業報告の承認について ・平成29年度決算の承認について（監査報告） ・平成30年度資金収支補正予算（第1回）について
第2回	平成30年11月9日 来島高齢者生活福祉センター 評議員 19名／25名中 監事 1名／3名中	報告事項 ・平成30年度中間決算及び上半期事業報告について（監査報告） 議案 ・平成30年度資金収支補正予算（第2回）について ・理事の補充選任について

第3回	平成31年1月30日 来島高齢者生活福祉センター 評議員21名／25名中 監事 3名／3名中	議案 ・平成30年度資金収支補正予算（第3回）について ・理事の補充選任について
第4回	平成31年 3月26日 来島高齢者生活福祉センター 評議員19名／25名中 監事 3名／3名中	議案 ・平成30年度資金収支補正予算（第4回）について ・平成31年度事業計画について ・平成31年度当初予算について

（3）監査の実施

1）一般監査

回数	開催月日・開催場所	監 査 内 容
第1回	平成30年5月22日 来島高齢者生活福祉センター 監事 3名／3名中	平成29年度 決算監査 （平成29年4月1日～平成30年3月31日） ○平成29年度事業報告 ○資金収支計算書・事業活動収支内訳書 財産目録・貸借対照表
第2回	平成30年10月19日 来島高齢者生活福祉センター 監事 3名／3名中	平成30年度 上半期監査 （平成30年4月1日～平成30年9月30日）

2）内部監査

回数	開催月日・開催場所	監 査 内 容
第1回	平成30年 5月18日	平成29年度介護保険4事業について、4月～7月までの運営状況について
第2回	平成30年 8月21日 23日	平成30年度介護保険4事業について4月～直近までの運営状況について
第3回	平成31年 2月14日	平成30年度事業状況と来年度に向けた課題等

3）飯南町監査

保健福祉課 平成30年 6月25日（地域福祉課・通所介護課・訪問介護課・居宅介護課）

住 民 課 平成30年 7月 9日（保育所）

4）県・雲南広域連合 実地指導監査

実 施 日 平成30年 8月21日 来島保育所（県地域福祉課・子ども子育て支援課）

実 施 日 平成30年10月 2日 あかぎの里（県高齢者福祉課）

実 施 日 平成30年11月29日 赤名保育所（県地域福祉課・子ども子育て支援課）

（4）その他会議の実施

・運営検討会議 毎月1回

- ・法人内部会議 毎月1回

2. 諸規程の整備

- (1) 保育所管理運営規定の改正：看護師配置を明記他
- (2) 就業規則の一部改正：有給休暇5日取得義務にかかる条文追加他
- (3) 評議員選任・解任委員会設置及び運営細則の一部改正

3. 地域公益活動

当社協における活動はもとより、他の社会福祉法人との連携により無料または低額な料金で福祉サービスの提供ができるよう検討・協議を進めています。

4. 情報開示の状況

- (1) ホームページによる情報開示については、開示必須の情報（事業報告、決算、役員関係規定）に加えて、社協だより、職員採用募集、義援金の募集等を掲載し周知しました。
- (2) 財務諸表等電子開示システム運用については2年目となり、法人詳細情報を入力しアップしました。
- (3) 広報誌の発刊 年5回（4月・5月・7月・10月・1月）

5. 自主財源の確保

(1) 会費

会費については、年々世帯の減少とともに減収傾向で一般会費については昨年度より下回りましたが、団体会員については新たに9事業所に参加いただき自主財源確保に取り組みました。この会費については、平成30年度も地域福祉活動財源として活用し地域に還元することができました。

(2) 介護保険事業

あかぎの里においては、職員体制を整え入所制限を解除することができました。法人全体では入所系サービスの稼働はよくなりましたが、通所系の在宅サービスの利用が減少したため、昨年度から引き続き減収となりました。

6. 公的財源の確保

法人運営の補助金については、概ね当初予算どおりの収入を得て、法人運営を円滑に行うことができました。

7. 福祉・介護人材の安定的な確保と定着

介護・保育にかかる人材確保については、県の福祉人材センターや飯南町の定住担当者、ハローワークと連携を図りながら人材確保に努めました。平成31年度採用では、保育士養成校への学校訪問を継続する中で町外からの採用にも繋がりました。

8. 基金活用による地域住民への還元

(1) 典礼事業

斎壇等貸付 34件 霊柩車 32件

(2) 寄附金等の状況

①香典返し	89件	2,630,000円
②一般寄附	3件	48,720円
合 計	92件	2,678,720円

(3) 福祉用具の助成事業 町内の福祉事業所 9カ所

9. 職員育成研修と資格取得の推進

(1) 人権研修

平成30年度は町内で開催される人権研修に参加する形で実施しました。

開催月日	開催場所	内 容	参加人数
平成30年6月21日	頓原環境改善センター みせん	人権同和推進研修会 男女共同参画	21名
平成30年7月12日	来島基幹集落センター	人権研修 活弁からみる人権	17名
平成30年8月 3日	赤名環境改善センター	人権教育 「映画『かば』～西成を生きた教師と生徒ら～」制作への思い	13名
平成30年12月1日	来島基幹集落センター	人権研修 「大笑い福祉使」を名乗る落語家	1名

(2) 新任研修

平成30年度も新たに5名の職員を採用いたしました。内部研修及び採用後1カ月間は新任職員研修日誌へ日々の気づき等を記入し、指導コメントを行うことで、新たな職場環境の不安を取り除きスムーズな職場適応の努めました。

(3) 資格取得支援

- ・資格取得については、平成26年に資格取得支援要綱を施行以降、整備をしていませんでしたが、資格の名称や受験資格要件等に変更があったので全面改正を行いました。
- ・平成30年度については、有資格者の採用以外には新規の資格取得はありませんでしたが、資格取得支援要綱に従い介護支援専門員の更新研修に3名が受講し、資格の更新を行いました。

(4) 資格取得状況

平成31年3月31日現在

資格名	取得人数	資格名	取得人数
社会福祉士	4名	介護支援専門員	11名
介護福祉士	36名(1名)	管理栄養士	3名
看護師	11名(1名)	2級ヘルパー等	28名
保育士	39名(1名)	調理師	9名

※取得人数は延べ人数

()内は前年度からの増減数

10. 職員の福利厚生

- (1) 衛生委員会を開催し、職場環境の課題を共有し改善に努めました。
- (2) 健康診断の結果について、産業医と協力して職員の健康保持に努めました。
また、新たに実施したがん検診助成事業を実施し、がん検診の推奨に努めました。
- (3) 職員会の活動
 - ・職員交流会の開催（6月 7日 48名参加）
 - ・国道クリーンアップ作戦（10月17日）
 - ・ソフトバレーボール大会の開催（10月19日 40名参加）
 - ・忘年会の開催（各部署）
 - ・研修助成事業の実施
 - ・大阪北部・米原市地震、7月豪雨に対する島根県への義援金協力

11. 苦情解決

平成29年度下半期～平成30年度上半期の苦情について、第三者委員さんに報告し意見交換を行いました。

12. 外部研修・各会議への参加

主な職員研修・会議

年 月 日	内 容	参加人数	場 所
平成30年4月16日	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	1名	福岡県
4月19日～22日	災害VC支援業務への職員派遣	1名	大田市
4月22日～25日	〃	1名	大田市
5月 8日	保育士養成校訪問	1名	松江・倉吉
5月12日	就職フェア	2名	出雲市
5月17日	比治山短期大学	1名	広島市
5月29日	幼児教育推進シンポジウム	1名	松江市
6月 4日	社会保険事務説明会	2名	出雲市
6月16日	合同就職説明会	2名	松江市
6月19日	会計実務研修事前講習	1名	松江市
7月 4日～5日	民生児童委員視察研修	1名	伊丹市
7月13日	安全衛生管理者研修会	1名	雲南市
7月19日～20日	社会福祉法人会計実務研修	1名	松江市
7月20日	社会福祉法人監査説明会	1名	松江市
7月26日	社会福祉施設経営実務セミナー	1名	大阪府
7月27日	共同募金委員会事務局長・担当者会	2名	広島市
8月 7日	西日本豪雨災害情報共有会議	1名	松江市
8月11日	就職フェア	2名	松江市
8月28日	公正採用人権推進員研修	1名	雲南市
9月 3日	働き方改革推進セミナー	1名	出雲市
9月 5日	労務管理研修	2名	出雲市
9月 5日	雲南圏域地域職域ネットワーク会議	1名	雲南市

9月 6日	メンタルヘルス研修	1名	松江市
9月12日	高齢者、障害者雇用に関する助成説明会	1名	出雲市
9月13日	保育士養成校廻り	1名	出雲・松江
9月22日	平成30年度しまね県民福祉大会	1名	松江市
9月26日	西日本豪雨災害情報共有会議（第2回）	1名	松江市
10月15日	福祉サービス苦情解決研修会	1名	松江市
11月 7日	健康管理セミナー	2名	雲南市
11月14日～15日	社会福祉法人会計研修（中級コース）	2名	松江市
11月14日	雲南地域被害者支援ネットワーク総会・講演会	1名	雲南市
11月19日	年末調整説明会	1名	雲南市
11月22日	採用担当者研修	1名	松江市
11月18日	身障協会1日研修同行	1名	松江市
11月20日	雲南地域被害者支援ネットワーク総会	1名	雲南市
12月 5日	社会福祉法人監事研修	1名	松江市
12月 6日	社会福祉法人会計研修（上級コース）	1名	松江市
12月10日	ファミリーサポートセンター事業アドバイザー研修	1名	出雲市
12月21日	保育施設経営セミナー	1名	出雲市
1月29日	日赤業務推進協議会	1名	松江市
2月21日	共同募金委員会事務局長・担当者会	2名	松江市
2月27日	障がい者雇用納付金制度事務説明会	1名	出雲市
2月28日	市町村社協総務担当部・課長等会議	1名	松江市
3月15日	理事・監事の改選手続きセミナー	2名	広島市
事務局長会議			
6月29日	第1回地域福祉推進委員会	1名	松江市
9月 4日～ 5日	平成30年度社協トップセミナー	1名	大田市
平成31年1月30日 ～31日	平成30年度社協トップセミナー	1名	松江市
3月6日	第2回地域福祉推進委員会	1名	松江市
3月6日	平成30年度事務局長会議	1名	松江市

13. その他

・火事見舞い 1件

14. 島根県共同募金会 飯南町共同募金委員会

赤い羽根共同募金運動の実施 10月1日～12月31日

街頭募金：10月1日

イベント募金：コスモス祭り・菌山街道 10月14日

頓原公民館まつり 10月21日

来島公民館まつり 10月28日

民生・児童委員協議会の皆様にご協力いただきました。

(1) 運営委員会

回 数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	平成30年5月28日 来島高齢者生活福祉センター	平成29年度共同募金委員会事業報告について 平成29年度共同募金委員会決算について
第2回	平成31年3月26日 来島高齢者生活福祉センター	平成30年度共同募金実績について 平成30年度共同募金（平成31年度事業）助成事業の決定について 平成31年度共同募金事業計画について 平成31年度共同募金当初予算について

(2) 審査委員会

回 数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	平成30年6月15日 来島高齢者生活福祉センター	平成30年度共同募金公募事業の審査について （審査数 3件 助成額 210,000円） 平成31年度赤い羽根共同募金助成計画について
第2回	平成31年2月15日 来島高齢者生活福祉センター	平成30年度赤い羽根共同募金実績について 平成30年度赤い羽根共同募金（平成31年度事業）助成金決定（案）について

(3) 平成30年度 赤い羽根共同募金実績

戸別募金	2,120,200円	イベント募金	71,011円
街頭募金	50,402円	個人募金	24,700円
学校募金	32,641円	その他の募金	95,047円
職域募金	51,500円	合 計	2,445,501円

平成29年度実績 2,537,955円
増減 △92,454円

・災害見舞金 1件

15. 日本赤十字社島根県支部 飯南町分区

赤十字社員増強運動月間「社員（社費）募集」 平成30年5月1日～31日

社費	件数 1,536件	金額 1,085,656円
寄付金	件数 1件	金額 2,056円
合 計	件数 1,537件	金額 1,087,712円

・弔慰金（不慮の事故死） 1件
・災害見舞金品（火災） 1件

16. 苦情受付

ありません。

Ⅱ．地域福祉課

1．小地域福祉活動推進事業

◆各関係機関との細やかな連携のもと、地域づくりを一体的に進めました◆

(1) 地域福祉活動計画の説明による共通理解の促進

会 議 名	対 象	年 月 日
飯南町教頭会	小中学校教頭会	6月29日(金)
在宅福祉課職員会	通所介護事業係、訪問介護事業係職員	9月 7日(金)
保育所職員会	保育所長、保育士	7月27日(金)
飯南町高齢者調整会議	包括支援センター、町内福祉事業所	12月11日(火)
あかぎの里職員会	あかぎの里職員	1月25日(金) 1月30日(水)
民生児童委員協議会定例会	民生児童委員	2月21日(木)

(2) 町内23地区(福祉会15・自治振興協議会8)とのネットワークづくりによる 小地域福祉活動推進啓発研修

福祉合同会議	開 催 日	参 加 者
福祉会会長・事務局 局長、自治振興会 長・福祉担当部長 合同会議 (第1回)	6月22日(金) 19:30 社協ホール ○飯南町地域福祉活動計画について ○飯南町地域福祉事業計画について ○小地域福祉活動促進事業助成申請につい て ○その他	地区代表 25名 保健福祉課 1名 地域振興課 1名 集落支援員 1名 社協職員 6名 合 計 31名
福祉会会長・事務局 局長、自治振興会 長・福祉担当部長 合同会議 (第2回) 兼 リーダー研修会	3月 5日(火) 18:30 社協ホール ○小地域福祉活動促進事業について ○研修会 ① 「雪かきから始まる地域づくり」 鳥取大学地域学部地域創造コース 筒井 一伸教授 ② 「日向支え合いボランティア実践」 日向コミュニティ振興会 事務局 工藤 志保 氏	地区代表 32名 保健福祉課、地域振興 課、集落支援員、民生 児童委員含む一般参 加者 22名 講 師 2名 県社協 2名 社協職員 6名 合 計 64名

(3) 小地域福祉活動促進事業(活動への助成金)

地 域 名	申請件数(件)	金 額
上町あんしん福祉会	8	35,600円
下町ふれあい福祉会	6	32,000円
上区草の根福祉会	1	3,000円
奥畑福祉会	0	0円
都加賀福祉会	2	19,000円
花栗いきいき福祉会	10	89,600円
寺沢福祉会	8	62,000円
長谷福祉会	3	32,600円
敷波福祉会	6	27,600円

佐見福祉会	2	20,200円
獅子まごころ福祉会	2	10,000円
川東福祉会	0	0円
川西福祉会	2	15,400円
志津見やすらぎ福祉会	10	135,400円
角井みんなの福祉会	9	42,600円
上赤名自治振興協議会	1	2,600円
赤名自治振興協議会	10	97,200円
下赤名自治振興協議会	5	68,400円
谷自治振興会	10	85,900円
上来島自治振興協議会	10	64,200円
小田真木自治振興協議会	8	115,400円
野萱自治区振興会	10	112,800円
下来島自治振興協議会	3	19,000円
	126	助成合計金額 1,090,500円 【財源】 共同募金配分金 533,491円 会費、基金 557,009円
H29年度申請:21地区	119	985,700円

(4) 地域支援事業（生活支援コーディネーター）の推進

- 1) 行政と連携した推進を行なうため、毎月1回の定例会を実施しました。（全12回）
参加者：保健福祉課生活支援コーディネーター、保健福祉課担当者
社協生活支援コーディネーター、地域振興課「小さな拠点づくり」担当者
- 2) 地域振興課主催の集落实態調査、地域ヒアリングに同行し、情報共有を行いました。

【地域ヒアリング調査】

地区名	月 日	地区名	月 日	地区名	月 日
頓原全域	7月25日	上赤名	9月25日	都加賀	10月10日
志々全域	7月20日	赤 名	9月21日	上 区	10月14日
来島全域	7月20日	下赤名	9月20日	奥 畑	11月 1日
赤名全域	7月30日	川 西	11月 7日	町 区	10月 5日
谷 全域	7月19日	志津見	11月15日	花 栗	10月12日
小田真木	10月31日	獅 子	11月16日	長 谷	10月12日
上来島	11月 2日	角 井	11月24日	寺 沢	10月16日
野 萱	11月 2日	川 東	11月28日	敷 波	10月10日
下来島	11月 2日	川 西	11月 7日	佐 見	11月11日

【集落实態調査】

地区名	月 日	地区名	月 日
小田真木	① 9月19日	長 谷	① 10月 2日
	② 10月30日		② 10月22日
	③ 11月29日		① 11月12日
赤 名	① 9月20日	寺 沢	① 10月 6日
	② 10月19日		② 11月10日
	③ 11月20日		① 12月 8日

2) 各地区サロンや役員会、各老人クラブ等で、意識啓発に努めました。

① 『生活支援・介護予防に向けた取組み～助け合いの地域づくり～』の説明

② 『近隣助け合い体験ゲーム』を実施

〈P20 福祉教育推進事業 表B参照〉

2. 総合相談事業

◆生活課題を抱える方々の総合相談機能を充実・強化し、関係機関とともに支援に努めました◆

(1) 周知活動

1) どんな相談も受け付け繋いでいく広い窓口として、社協広報誌、ケーブルテレビにて事業の周知を継続して行いました。

2) 28年度に作製した相談内容別相談場所の紹介リーフレット（対応職員の写真入り）を更新し、新たにポスターも作成し、今後役に立てていきます。

(2) 各相談実績

1) こもれば相談（毎月2回） 相談件数 13件

2) 無料法律相談（隔月1回） 相談件数 16件

（4月3件、6月4件、8月4件、10月1件、12月0件、2月4件）

財源：会費基金（相談員、弁護士への費用弁償）

3) ひきこもり・不登校の当事者、保護者の相談場所『ぷらっと』

平成29年度より週1回⇒週3回に増回

（毎週：月・水曜日14：00～17：00、金曜日9：00～17：00）

①開催日数：139日（H30年4月1日～H31年3月末）

②来所者数 保護者： 38名（延べ） 実数6名（新規1名）

当事者：142名（延べ） 実数6名（新規2名）

③1日利用者 平均数： 1.3名 ※平成29年度 1.34名

④その他の来所者数（保健師、手芸等講師、見学等…）：46名（延べ） 実数17名

3. 日常生活自立支援事業・法人後見事業

◆高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう二つの事業の役割を活かしながら、各関係機関と連携した支援に努めました◆

(1) 日常生活自立支援事業の利用支援【平成31年3月末現在】

※（ ）は昨年度数

・新規契約 1件（4件） 契約協議中件数 3件

- ・契約終了 1 件（0 件）
- ・自立支援事業利用者 16 名（16 名）、うち 1 名は法人後見事業併用
- ・生活支援員 13 名（14 名）
- ・相談件数 533 件（395 件）

※本人、親族、知人、保健師、民生委員、福祉施設等からの相談をすべて含む

- ・支援員の資質向上、意見交換の場づくりのため飯南町社協独自で支援員研修会を継続して開催しました。また、県の研修会にも積極的に参加しました。新たに、日自利用者、晴雲の里及びあゆみの杜作業所利用者の方を対象とした研修会も開催しました。

（２）成年後見制度（法人後見事業）の取り組み【平成 31 年 3 月末現在】

- ・契約件数 1 件（補助）
- ・法人後見運営委員会の開催（第 1 回）平成 30 年 5 月 14 日（月）
（第 2 回）平成 31 年 3 月 11 日（月）
- ・松江成年後見センター定例会（毎月 1 回）への参加

（３）事業から見えてくる課題（問題）への取り組み

- ・利用者の中には様々な問題が山積していることもあり、計画的な支援日にかかわらず相談にあたり、必要に応じて民生児童委員・保健師等支援関係者とも連携し対応しました。

（４）日常生活自立支援事業、成年後見制度の普及と啓発

- ・法人後見制度を含む相談支援パンフレットを各種会合で配布、説明を行い制度の周知に努めました。
- ・日常生活自立支援事業研修会の開催
（生活支援員、福祉事業所等支援者側対象 金銭管理研修会）
平成 31 年 3 月 19 日（火）
（利用の方対象 金銭管理研修会） “ 3 月 20 日（水）

（５）関係機関との連携強化

- ・保健福祉課（地域包括支援センター）、福祉事務所との連携
- ・民生・児童委員、他の市町村社協担当者、ケアマネジャー、各事業所との連携を強化することにより、相談体制の広がりと解決に向けてのチームアプローチでの支援に努めました。
- ・松江成年後見センターとの連携

4. ボランティアセンター事業

◆多様な主体が協働し地域の生活課題を解決していくために、ひとりでも多くの方の理解を深め実動していただけるよう、啓発や育成、活動支援に努めました◆

（１）学校（保育所）、地域での研修会、勉強会の実施

〈P19.20 福祉教育推進事業 表 A・表 B 参照〉

（２）サマーボランティアスクールの開催

1) 『知っていますか？ボランティアのこと、障がいのこと・・・』

盲導犬について知ろう！！』

8 月 2 日（木） 8：20～18：00

会 場：社協ホール、島根あさひ訓練センター、ワークくわの木『神楽ショップ』

参加者：29名(児童・生徒28名、赤来中学校教員1名)

①ボランティアって何だろう？

②施設見学『ワークくわの木 神楽ショップ』社会福祉法人 いわみ福祉会

③体験学習『障がいについて知ろう 盲導犬について知ろう』

島根あさひ訓練センター

2) 学校への事前周知訪問

学 校 名	月 日
頓原小学校、頓原中学校	7月 9日 (月)
赤来中学校、志々小学校	7月10日 (火)
来島小学校	8月11日 (水)
赤名小学校	8月12日 (木)

※訪問し、直接呼びかけることで関心が深まりました。

(3) ボランティア活動支援

1) 赤来中学校ボランティアサークル『虹の輪』活動

配食サービス掛け紙作成・防災学習・車椅子学習・赤ちゃんふれあい学習

職員派遣 年間10回(延べ212名参加。内1回は打ち合わせ会)

5. ふれあいいきいきサロン事業

◆地域の憩いの場が充実し、継続できるよう支援に努めました◆

(1) 新規立ち上げ

新規サロン開始・・・2地区

(2) ふれあいサロンの活動支援

継続サロンへの助成 ※1団体上限30,000円

地区名 (前年度実績：開催回数、延べ人数)	積算明細			
	開催回数α	+	延べ人数×60円	= 合計金額
上赤名いきいきサロン(11回195人)	10,000円	+	11,700円	= 21,700円
北野下スマレ会(12回129人)	11,000円	+	7,740円	= 18,740円
向谷サロン(5回96人)	8,000円	+	5,760円	= 13,760円
赤名中市サロン(14回218人)	11,000円	+	13,080円	= 24,080円
赤名下市サロン(12回180人)	11,000円	+	10,800円	= 21,800円
下赤名西サロン(10回155人)	9,500円	+	9,300円	= 18,800円
下赤名東散歩の会(9回86人)	9,000円	+	5,160円	= 14,160円
谷サロン(12回263人)	11,000円	+	15,780円	= 26,780円
小田真木サロン(11回272人)	10,000円	+	16,320円	= 26,320円
奥小田サロン(3回21人)	7,500円	+	1,260円	= 8,760円
奥真木サロン(10回124人)	9,500円	+	7,440円	= 16,940円
野萱ふれあいサロン(11回184人)	10,000円	+	11,040円	= 21,040円
野萱長生き体操サロン(12回132人)	11,000円	+	7,940円	= 18,920円
松本中部さくらサロン(13回234人)	11,000円	+	14,040円	= 25,040円
上町サロン(0回0人)	0円	+	0円	= 0円
下町サロン(4回86人)	8,000円	+	5,160円	= 13,160円
はりど茶屋(12回211人)	11,000円	+	12,660円	= 23,660円
都加賀サロン(4回153人)	8,000円	+	9,180円	= 17,180円

花栗サロン2ヶ所（14回228人）	11,000 円 +	13,680 円 =	24,680 円
佐見サロン（5回56人）	8,000 円 +	3,360 円 =	11,360 円
寺沢サロン（6回135人）	8,500 円 +	8,100 円 =	16,600 円
長谷サロン（4回61人）	8,000 円 +	3,660 円 =	11,660 円
獅子サロン（5回43人）	8,000 円 +	2,580 円 =	10,580 円
川西サロン（4回75人）	8,000 円 +	4,500 円 =	12,500 円
しつみサロン（9回165人）	9,000 円 +	9,900 円 =	18,900 円
角井サロン（4回93人）	8,000 円 +	5,580 円 =	13,580 円
志々地区サロン縁会所（22回1,215人）	11,000 円 +	72,900 円 =	30,000 円
川東サロン（4回200人）	8,000 円 +	12,000 円 =	20,000 円
はない茶屋（21回450人）	11,000 円 +	27,000 円 =	30,000 円
合 計			530,700 円

新規立ち上げサロンへの助成

地区名	積算明細
赤名上市サロン	立ち上げ経費・初期費用 15,000 円
サロン風和里（上来島）	立ち上げ経費・初期費用 15,000 円
合 計	30,000 円

※財源：会費、基金

- ・平成30年度活動サロン・・・31ヶ所（29ヶ所 ※花栗2ヶ所を1サロンと数える）
年間延べ実施回数・・・263回（259回）

参加者数・・・5,460人（5,260人） ※（ ）は前年度

職員派遣（要望のある各サロンへ年2回）、資機材（レクレーションに必要な備品、機材等）の貸出し

（3）介護予防と健康づくりへの結びつけ、関係機関と情報の共有化

- ・保健福祉課保健師、包括支援センターとの連携
連絡・相談・報告（随時）に加え、介護予防推進会議（毎月1回）にて情報を共有し訪問等を実施しました。

6. いーなんシルバーおたすけ隊運営事業（シルバー人材センター運営事業）

- ◆会員には知識や経験を活かせる場の提供で、生きがいや健康の増進を、利用者には低価格での利用を促進し、双方の支援活動に努めました◆

（1）中高齢者の福祉的就労支援の継続、人的確保、利用促進・登録PRについて、各地域や関係機関（民生児童委員協議会、飯南町老人会等）、各サロンにおいて周知しました。

（2）受託実績

【会員数：新規4名含む37名 実働27名】

【利用件数：延べ235件】

（ ）は前年度実績

作 業 内 容	料金（1時間）	件 数	請 負 金 額
営繕修理	1,000円	0（2）	0円
植木等の剪定、伐採	1,100円	9（3）	58,409円
障子張替	800円	3（0）	4,200円
草刈り	1,100円	96（106）	1,342,834円

除草剤散布	900円	1 (2)	604円
墓掃除	900円	5 (4)	14,175円
家の掃除	800円	114 (131)	203,543円
畑作業	1,200円	4 (5)	9,582円
その他 (見守り)	800円	6 (0)	2,520円
処分料、交通費、材料費等			79,716円
合 計		238件 (253件)	1,715,583円 (1,631,646円)

(3) 会員との相互理解を図り、円滑な運営を行ないました。

シルバー人材センター総会の開催 (平成31年3月29日 (金)) 登録者13名参加

- ①平成30年度の飯南町シルバー人材センター実績報告 (平成30年2月末時点実績)
- ②「飯南町シルバー人材センター」名称変更について
- ③平成31年度の活動について
- ④意見交換

7. 食の自立支援事業 (配食サービス)

◆栄養バランスのとれた体に優しい弁当作りと、安否確認を兼ねた弁当の配送を行いました。
また、福祉教育やボランティアの育成に繋がるよう努めました◆

(1) 利用者の健康状態を把握し、栄養バランスのとれた食事の提供

- ・包括支援センターとの連携と利用者の体調や好みに合わせた形態 (軟飯、刻み食、カリウム制限食等) の食事を提供しました。

(2) 単身高齢者等の居宅訪問、安否確認

- ・老人会の友愛訪問活動、配送ボランティア、職員等でお弁当を届け、声掛けや傾聴を実施しました。
- ・毎回の便り、今日のレシピ、掛け紙等で弁当の楽しみが増える工夫を継続して行いました。

【掛け紙づくりのボランティアに協力いただいている方】

各保育所、赤来中学校サークル『虹の輪』、頓原中学校、飯南高校 JRC クラブ、サロン、デイサービス利用者、福祉事業所、個人

(3) 衛生管理に配慮し、安全な食事を提供

- ・調理作業前の衛生チェックと、調理作業時の手袋、マスク、キャップ等の着用、粘着テープの使用で髪の毛、ほこりの落下防止対策を行いました。
- ・調理ボラ324名について年1回の検便を行いました。

(4) 配食サービスが必要な利用者の掘り起こし

- ・世帯訪問等の実施や地域からの相談により、新たな利用ニーズに繋がりました。
- ・新規利用者数17名

(5) 年間配食数

(※ボランティア、検食分除く)

配 食 数	赤 来 地 域	頓 原 地 域	合 計
H30年度	2, 362食	2, 758食	5, 120食
H29年度	2, 850食	2, 958食	5, 808食
前年度比	-488食	-200食	-688食

・死亡、入所により食数が減少

※週2回の利用者が中止された場合、年間約100食減

8. 福祉教育推進事業

◆各学校や公民館とともに福祉教育を進めました◆

(1) 学校等への福祉教育

①テーマ 「様々な生活や生き方に気づく」

②ねらい 講義、交流、体験を通じ、様々な生活や生き方に気づき、他者の気持ちに共感できる力を育む。

③主な内容 町内保育所・小中学校・高校への福祉教育（講義、体験、交流）

〈表A〉

月 日	開催場所	内 容	協働機関	学 年	人 数	時 数
4/20	飯南高校	福祉体験事前学習 高齢者福祉の現状と課題 福祉とは？福祉の仕事について	地域振興課	3年生1組 教員 役場職員	29名 5名 3名	1時限
5/30	赤来中学校	配食サービス ボランティア活動について 災害とボランティアについて		1年生 2年生 3年生	22名 19名 22名	1時限 ×各学年
5/12	頓原中学校	車椅子学習 車椅子利用者の気持ちの理解 介助の仕方について		3年生 保護者 教員	10名 10名 3名	1時限
6/8	来島小学校	ニュースポーツ体験から個々の特性の理解や認め合う事を学ぶ		4～6年生 教員	10名 1名	1時限
6/21	頓原中学校	配食サービスについて知る 福祉とは？ボランティアとは？		1年生	11名	1時限
6/28	赤名小学校	地域世代間交流 お互いを思いやる心を育む	老人会	4～6年生 教員 老人会	13名 3名 8名	1時限
7/27	保育所職員研修会	幼少期からの福祉教育の必要性について共通認識する		町内保育所 保育士	約20名	1時間
8/2	町内小中学校	サマーボランティアスクール ボランティアについて 障がい者就労施設見学と障害の理解、盲導犬訓練所の見学		小5年生～ 中3年生	29名	7時間
10/21	頓原公民館 まつり	防災ブースへの協力 飯南高校ハザードマップ	集落支援員			
11/8	赤名小学校	室内軽スポーツを通じた異世代交流	老人会	ふれあいクラブ、老人会	生徒15名、5名	1時限
11/19	赤来中学校	生徒と赤ちゃんのふれあい体験 「感謝」「思いやり」等を感じ福祉意識の向上を図る	子育て支援センター	ボランティアサークル 乳幼児保護者	20名 8名	1時限
11/27	赤名小学校	福祉事業所訪問前学習 ふくしについて知る		3年生	15名	1時限

		介護サービスについて知る				
12/2	頓原中学校	あいサポート研修 障がいについて知り、思いやりや人に寄り添うことの大切さを学ぶ		3年生 保護者 教員	9名 8名 3名	1時限
12/19	赤来中学校	車椅子学習 車椅子利用の方の気持ちを、同じ地域に住む隣人として理解する		ボランティア サークル	12名	1時限
3/22 25	来島保育所	福祉紙芝居			約20名	各20分

(2) 各地域への福祉教育

- ① テーマ 「自然災害からも命を守ることにつながる地域の見守り意識、体制づくり」
- ② ねらい 小地域の中で日常の見守り体制が確立でき、大雪、大雨、地震等の自然災害の時にも地域住民の生命を守る行動ができる。
- ③ 主な内容 小地域に出かけ、地域での見守り体制の確立に向けて情報提供・学び・意見交換を通し具現化していく。

〈表B〉

月 日	参加先	内容	協働機関	参加人数
4/8	頓原婦人会	近隣助け合い体験ゲームから互助、共助について考える	保健福祉課	25名
4/10	上赤名サロン	助け合いゲームからの生活課題の抽出		18名
5/22	中市サロン	事前に出来る対策や連絡先の確認などの情報提供		15名
5/25	奥真木サロン	災害について情報提供。生活上のちょっとした困りごとについて話を伺う		9名
6/22	小地域福祉担当者合同会議	『地域福祉活動計画』の説明から地域の見守り体制づくりを抜粋し説明、推進	保健福祉課 地域振興課	35名
6/28	川西サロン	近隣助け合い体験ゲームから互助、共助について考える		20名
7/10	寺沢サロン	孤立死、災害、地域の助け合いを学ぶ		22名
7/11	下赤名西サロン	災害時の備え、防災グッズの紹介 地震災害のDVD視聴		20名
7/25	志津見サロン	互助、共助について参加者との話し合い 災害時の見守り体制について		20名
7/30 8/21	敷波福祉会 役員会	地域における互助、地域のつながりが防災にもつながる	民生児童委員	7名
8/4	小田真木自治振興協議会	夏祭りブースにおいて『災害時準備品、説明書き等』を展示し啓発。	民生児童委員	200名
8/20	野萱自治区振興会役員会	見守り、安否確認のできる地域づくり	民生児童委員	9名
8/23	小田真木自治振興協議会役員会	防災にもつながる日頃からのつながりづくり、小地域の連絡体制について	集落支援員	14名
9/7	在宅福祉課（通所・訪問）職員会	『地域福祉活動計画』から、日頃の見守り体制づくりの重要性の意識啓発、住民としての社協職員の役割の確認		15名
9/8、9	赤名公民館主催「親子で防災キャンプ」	地域における社協の役割、防災学習と災害時にそれぞれの立場で出来る事を考える	小学校児童・保護者	16名
9/18	角井サロン	近隣助け合い体験ゲームから互助、共助について考える	集落支援員	18名

10/19	上赤名サロン	防災学習～災害時の備えについて～勉強会		19名
10/19	下来島自治振興協議会役員会	「気かけあいの地域のしくみづくり」	集落支援員 民生児童委員	10名
10/19	上赤島自治振興協議会役員会	「気かけあいの地域のしくみづくり」	集落支援員 民生児童委員	10名
10/21	頓原公民館主催 公民館まつり	避難所体験、災害時の備えについて ハザードマップの確認・周知	集落支援員 飯南高校生	50名
10/31	志津見サロン	日頃の見守りと防災	保健福祉課	19名
11/1	上赤島自治区 小田真木自治区	2自治区合同研修～地域の見守り体制づくりに向けて～	民生児童委員	約70名
11/25	下赤名自治振興協議会	『福祉まつり』にて『地域の支え合い』と 日ごろの見守り体制づくりについて講演	民生児童委員	約150名
11/25	野萱自治振興会	防災研修、避難所運営ゲーム HUG体験	民生児童委員	28名
11/30	佐見サロン	防災に備えての体制づくり	集落支援員	15名
11/30	志々地区ボラン ティア研修会	近隣助け合い体験ゲームから互助、共助に ついて考える	志々公民館	30名
12/1	地域包括ケア推 進局主催：地域 ケアフォーラム	『地域のささえあい 生活支援コーディネ ーターの役割』	町内の医療・ 福祉・介護関 係者	100名
12/8	町内の福祉事業 所職員	『地域福祉活動計画』の説明から地域の見 守り体制づくりを抜粋し説明、推進	主催：病院、 保健福祉課 福祉事業所他	20名
12/13	65歳以上の 単身高齢者	防災にむけての意識づくり	雲南消防本部 赤名集落支援員	45名

(3) 小地域福祉活動組織への支援（職員参加・職員派遣）

月 日	地域名	内 容
11/25	野萱自治区振興会	視察研修会
2/17		異世代交流会
7/25	小田真木自治振興協議会	福祉担当役員会
8/4		異世代交流会
3/3	花栗福祉会	異世代交流会
11/11	都加賀福祉会	異世代交流会

3) その他の会議への職員派遣

月 日	会議名	対 象	内 容
8/1	島根県理学療法士会 地域包括ケア推進研修会	島根県理学療法士、 作業療法士、言語聴覚士	連携・協働を基盤としたまちづくり つながることから始まる住みたい地域
8/28	奥出雲民生児童員視察 研修会	奥出雲民生児童委員	ひきこもり、不登校の相談場所・居場所 ぷらっと

9. 地域福祉諸団体との連携事業

◆福祉のまちづくりを地域福祉諸団体と協働して進めました◆

(1) 当事者組織の活動支援、事務局としての継続支援

組 織 名	内 容	参加月日
老人クラブ連合会頓原支部	支部会長会	4月11日(水)
		3月15日(金)
	体力測定(頓原)	7月9日(月)
	体力測定(志々)	7月13日(金)
	グラウンドゴルフ・ペタンク大会	7月23日(月)
	グラウンドゴルフ大会	10月10日(水)
身体障がい者協議会	役員会	5月15日(火)
	総会	5月27日(日)
	障がい者グラウンドゴルフ大会	6月23日(土)
	役員会	9月4日(火)
	雲南障がい者スポーツ大会運営等打ち合わせ会	9月14日(金)
	雲南障がい者スポーツ大会	9月27日(木)
	日帰り研修(大根島、米子市)	11月18日(日)
原爆被災者協議会	役員会、総会(加田の湯)	6月4日(月)
	役員会	9月7日(金)
	日帰り研修(鳥取県)	10月10日(水)
手をつなぐ育成会 ※令和2年度を目標に『やまゆりの会』との統合を検討。	育成会総会	2月22日(金)

(2) 関係機関との連携、協働事業の開発、調整

関 係 機 関 名	内 容	月 日
民生児童委員協議会	定例会・総務部会出席 視察研修会	各1回/月 7月4,5日(水木)
晴雲の里	町外研修(出雲市方面)	7月13日(金)
	町外研修(尾道研修)	10月31日(水)
赤来中学校・民生児童委員	合同連絡会議	7月13日(金)
保健福祉課・包括支援センター	遠距離介護支援セミナー	(打合せ会4回) 11月23日(祝)
	平成30年度 72歳塾	10月3日(水)
	飯南町高齢者等サービス調整会議	毎月1回
	介護予防推進会議	〃
	飯南町事例検討会議 飯南町地域包括支援センター運営協議会	〃 年2回
島根県社会福祉協議会	モデル地域アセスメントシート策定 検討会	12/6、1/29、 3/28

その他：各ケース会議(随時)、あゆみの杜運営推進会議(隔月1回)

(3) 関係機関・団体との協働体制

1) 旧正月年越しそばの配布

実施企業：(有)一福 日時：平成31年2月2日(土)

実施内容：単身高齢者、入所施設の方へそばの寄贈

配布数：373食 ①内買い取り(地区での会食開催用86食)含む

②入所施設／20.8kg

協力：福祉会、自治振興協議会福祉担当部、民生委員、老人クラブ

2) 単身高齢者、高齢者世帯へのカレンダー(共同募金財源で作成)配布

配布の協力：民生児童委員 364部 (昨年度) 329部

10. 単身高齢者、高齢者世帯事業 (高齢者の生きがいと安心づくり事業)

◆安心と生きがいづくりのお手伝いができるよう訪問活動、交流会の開催に努めました◆

(1) 島根県西部地震後の困りごと把握、防災に対する声掛け訪問

・75歳以上単身高齢者世帯訪問：6、7月実施

赤名・谷：50件 来島：45件

頓原：49件 志々：23件 計167件

(2) 安否確認に繋がるニーズの把握と「交流会」お誘い訪問の実施

・単身高齢者世帯訪問：11月実施 (昨年訪問件数)

赤名・谷：94件(83件) 来島：84件(84件居住部含む)

頓原：92件(88件) 志々：41件(43件)

計311件

・訪問時の相談、心配な世帯の把握、民生児童委員さんとの情報共有、傾聴

・状況にあわせ法律相談、包括支援センター等各関係機関に繋ぎ新たなサービスを開始しました。

(3) 単身高齢者交流事業の実施

・『おひとり暮らしの皆さんの会 ほがらか鍋の集い』

日時：12月13日(木) 10時30分～14時

場所：赤名農村環境改善センター

参加者：42名 スタッフ(包括支援センター2名、赤名集落支援員1名)

①雲南消防所本部予防課による防災についてのお話

②清水玲湖さんによるパラフォン演奏

③彩華だんだんによるなつかしい唄と踊り

(4) 社会参加の促進

・『敬老会(町と共催)』

日時：9月17日(月) 10時～11時40分

場所：頓原農村環境改善センターみせん

参加者：197名 内訳 赤来110名 頓原87名

(前年度：261名 内訳 赤来171名 頓原90名)

①式典

②アトラクション 小川たける歌謡ショー

1 1. 生活福祉資金・民生融金相談受付・貸付事業

◆低所得者、高齢者、障がい者等を対象にした資金貸付と、必要な相談支援を飯南町と連携し対応するとともに、他の福祉サービスに繋げることも視野に入れた事業運営に努めました◆

(1) 資金相談件数【生活福祉資金】

月	貸付			償還			その他	合計	備考
	電話	窓口	訪問	電話	窓口	訪問			
6			3						教育支援資金 3
7			1						教育支援資金 1
1 1			1						福祉資金 1
3	2								教育支援資金 2
合計	2		5					7	

新規貸付：0 件

償還終了：2 件

(2) 資金相談件数【民生融金】

月	貸付			償還			その他	合計	備考
	電話	窓口	訪問	電話	窓口	訪問			
6			1						貸付 1
1 1			3						貸付 3
合計			4					4	

※新規貸付：2 件

※償還終了：2 件

(3) 借入申し込み世帯の生活課題を把握、相談から見えてくる課題への取組み

- ・“生活困窮者自立支援の窓口”福祉事務所との連携
担当者間での情報共有や状況に応じてケース会議を行い、協働による支援、困窮に至る原因の解明、自立支援対策等の補助
- ・生活状況の聞き取りで、課題解決をともに考え支援を行ないました。

(4) 適切な資金運営の実施

1) 資金運営委員会の開催

3 月 1 1 日（月）

【議事内容】

- ・民生融金・生活福祉資金について
- ・各貸付事業（民生融金・生活福祉資金）の運用状況について
- ・その他

(5) 滞納者への返済指導強化

- ・催促状による返済のお願い
- ・島根県社協との連携
- ・来年度にむけて、返済における取り組みを協議し県社協と訪問等を進めていくことと

しました。

1 2. 出張及び研修

内 容	場 所	月 日
災害ボランティアセンター派遣	大田市	4月28～30日
	江津市	7月19～22日
	三原市	9月4～7日
	倉敷市	9月7～10日
		10月7～9日
	大田市	4月28～30日
大田市災害支援講習会	大田市	4月24日
民事・家事調停手続き説明会	松江市	5月17日
福祉教育担当研修会	松江市	5月8日
生活支援コーディネーター研修会	松江市	6月21日
民生児童委員視察研修会	兵庫県	7月4～5日
あいサポートメッセンジャー養成研修会	出雲市	8月17日
生活支援コーディネーター養成研修会（理論編）	松江市	8月30～31日
コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修会	松江市	9月12～13日
災害ボランティア研修会	雲南市	8月23～24日
防災士研修	松江市	8月25～26日
長生き体操視察研修	津山市	10月14日
地域福祉推進セミナー	松江市	10月22日
地域ケアトップセミナー	雲南市	11月8日
地域包括ケアシステム、小さな拠点づくり	出雲市	11月13日
生活福祉資金運営研究協議会	松江市	1月16日
社会福祉士実習受入れ施設協議会	松江市	2月13日

1 3. 苦情受付

ありません。

Ⅲ. 在宅福祉課（通所介護事業係）

1. 介護保険事業

（1）通所介護事業及び介護予防通所介護事業 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用定員	25	25	25	25	25	25
営業日数	25	27	26	26	25	25
実利用者数	64	61	60	61	60	65
延利用者数	346	362	346	348	351	341
（内介護）	241	248	235	230	244	225
（内総合）	105	114	111	118	107	116
1日利用者平均	14.0	13.5	13.3	13.3	14.0	13.6
月別利用率	55.3%	53.6%	53.2%	53.5%	56.1%	54.5%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	前年度
25	25	25	25	25	25		
27	26	25	24	24	26	306（稼動日）	307
63	60	58	61	60	63	61.3（月平均）	54.5
358	347	307	310	320	331	4,067（延人数）	4,665
230	225	198	203	199	205	2,683（延人数）	3,592
128	123	109	107	121	126	1,384（延人数）	1,073
13.2	13.3	12.3	12.9	13.3	12.7	13.2（1日平均）	15.1
53.3%	53.3%	49.1%	51.6%	53.3%	51.9%	53.2%（月平均）	60.6%

新規利用者数		利用再開	利用中止			長期入院
（要介護）	（総合）		（死亡）	（入所）	（その他）	
12	12	1	4	6	4	0

（2）介護度別 延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象	39	40	40	49	42	45	57	45	38	43	46	46
要支援1	31	39	30	34	25	32	30	36	32	29	42	48
要支援2	35	35	31	35	40	39	41	41	39	35	33	32
要介護1	61	80	88	85	82	62	65	59	53	51	58	45
要介護2	58	63	64	51	53	66	77	77	75	84	79	80
要介護3	48	38	33	52	67	47	40	30	18	15	13	19
要介護4	38	41	28	21	22	34	27	37	35	28	19	25
要介護5	36	26	22	21	20	16	21	22	17	25	30	36
合 計	346	362	346	348	351	341	358	347	307	310	320	331

(3) 通所介護サービス 提供内容

①送迎

- ・ ・ ・ ・ ・ 利用者の自宅までの送迎

②健康チェック

- ・ ・ ・ ・ ・ 看護師による血圧測定、検温および問診による健康チェックの実施
特変時の対応の実施

③生活相談

- ・ ・ ・ ・ ・ 体調管理、心配ごと、日常生活用品、介護用品等の相談に応じ、助言、関係機関の紹介

④入浴

- ・ ・ ・ ・ ・ 個浴、3人浴、特浴において入浴サービスを提供。また、体調等によってはシャワー浴、清拭、足浴を提供

⑤食事

- ・ ・ ・ ・ ・ 嗜好調査をし、管理栄養士の献立によって、個々にあった食形態への対応

⑥口腔ケア

- ・ ・ ・ ・ ・ 口腔の衛生保持及び口腔機能低下防止・嚥下障害予防のため、食事前に健口体操の実施

⑦個別機能訓練

- ・ ・ ・ ・ ・ 日常動作訓練を中心に、筋力低下の防止を図り、リハビリ体操、ボール体操、平行棒による歩行訓練、認知機能維持向上のためのメニューを実施

⑧他機関との連携

- ・ ・ ・ ・ ・ 医療機関、訪問介護、介護支援専門員、地域包括との連携により、利用者個別の問題解決、サービスの提供

(4) その他の業務内容

①通所介護計画の作成、評価、見直し

②個別介護マニュアルの作成

(送迎、食事、排泄、入浴を柱に介護マニュアルの作成、見直し)

③感染予防対策

(手洗い・消毒の励行と室内の湿度管理及び車両内の消毒及び必要備品の確認、補充、フットケアの実施、浴室の消毒及び感染予防の入浴対応)

④各種マニュアルの見直し

(緊急時対応マニュアル、感染予防マニュアル、防災計画等の見直し、職員への周知)

⑤総合事業の実施

2. 障がい者自立総合支援法による事業

[障がい福祉サービス 生活介護]

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
延利用日数	12	11	12	10	13	11	8	12	12	11	10	12

3. 高齢者生活福祉センター管理運営事業（受託事業）

（１）居住部門＜８部屋＞

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用実人数	8	7	7	7	7	6	5	5	4	4	7	7

（２）生活管理短期宿泊事業＜４床＞

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用実人数	5	7	2	0	0	1	1	2	3	3	0	0
延利用日数	23	44	7	0	0	4	8	21	57	20	0	0

（３）来島高齢者冬期宿泊センター＜６部屋＞

月 別	12月	1月	2月	3月
利用実人数	4	4	4	4

4. 研 修

月 日	研 修 内 容	開催地
5月18日	雲南地域介護部会総会	雲南市
6月29日	褥瘡のあれこれ	飯南町
7月2日	島根県老人福祉施設協議会総会	松江市
7月10日・11日	相談支援従事者初任者研修	松江市
7月19日	自立支援型ケア研修	飯南町
8月9日	雲南地域通所介護部会研修会	雲南市
8月21日	認知症ケア研修会	出雲市
9月12日・13日	キャンパス管理職員研修会	松江市
9月14日	雲南圏域高次脳機能障がい者支援研修会	飯南町
9月19日	福祉施設協議会講演会	飯南町
10月4日	島根県老人福祉施設協議会医療ケア研修会	松江市
10月4日	雲南地域通所介護部会研修会	雲南市
10月5日	雲南地域感染症研修会	雲南市
10月15日	福祉サービス苦情研修会	松江市
11月1日	リスクマネジメント研修会	松江市
11月5日	島根県老人福祉施設協議会研修大会	松江市
11月15日	介護福祉部会職種別研修会	飯南町
12月1日	地域ケアフォーラム	飯南町
12月8日	雲南圏域多職種研修会	雲南市
12月12日	高齢者虐待防止研修会	松江市
3月7日	介護サービス従事者キャリアアップ研修会	雲南市
3月12日	島根県老人福祉施設協議会総会	松江市

5. 会 議

- （１）高齢者サービス調整会議（月１回）
- （２）サービス担当者会（随時開催）
- （３）職員会（月１回）
- （４）ケース会議（月１回）

- (5) 居住施設事業検討会 (3月)
- (6) 障がい者自立支援協議会地域部会 (月1回)
- (7) 飯南町地域包括ケア推進局 介護福祉部会 (年4回)
- (8) 飯南町福祉施設協議会 (年4回)

6. 交流事業・実習等受入れ

- (1) 来島小学校交流 (6月、7月、10月、11月2回)
- (2) 赤名小学校交流 (10月、12月3回)
- (4) 実習生受け入れ (4月…飯南高校生福祉体験学習)
- (5) 9月敬老会 (アロハローゼ iinan)、演奏会 (赤来中学校吹奏楽部)

7. 避難訓練

年2回実施

- ① 8月28日…日中想定 ② 2月22日…夜間想定 (手順確認)

8. 苦情受付

ありません。

9. 利用状況

平成29年度と比較すると、介護利用者数は延べ600人程度減少しましたが、事業対象者数は300人程度増加し、利用申し込みも増えておりますが、要介護者の利用から、利用の増回、また、急な利用等の対応を可能な限り対応しました。今後も要介護者と事業対象者とのバランスをとりながらサービスをしていく必要があります。また、登録者数は障がいも含め20名を超えていますが、ショートステイ利用、入院、休み等で実利用者数は13～14人前後となっております。

利用中の意識消失、血圧低下など急な体調不良を起こされる利用者には、未然に防げるよう無理なく過ごしていただき、ご家族、担当ケアマネ等との連携に努め、今後も継続して対応していきます。

また、町からの受託事業である居住では、入所者の状態が重度化し生活が難しくなる方もいらっしゃるため、状態に合う施設への移行など、年に一度の検討会以外でも町、担当ケアマネとの情報共有などの連携に努めました。

短期宿泊は、4～6月に要介護者の利用がありました。また、緊急受け入れも行いました。

Ⅲ-Ⅰ 在宅福祉課 (訪問介護事業係)

1. 主な事業内容

(1) サービス提供内容

①介護保険

- ・身体介護・・・入浴・排泄・食事等の介護
- ・生活援助・・・調理・洗濯・掃除・買い物等日常生活上の援助
- ・訪問型サービス・・・身体介護及び調理・洗濯・掃除・買い物などの日常生活自立への

支援

②障がい者総合支援（精神・身体障がい・知的障がい）

- ・居宅介護・・・調理・買い物・掃除・入浴介助
- ・通院等介助

（２）その他の主な業務内容

- ・訪問介護計画書の作成、評価、見直し作業の実施
- ・ケース検討の実施（問題の早期解決、サービスの統一）
- ・業務記録の整備（利用者の状況把握）
- ・サービス提供時のヒヤリハットの報告

（３）会 議

- ・飯南町高齢者サービス調整会議（１回／月）
- ・介護予防推進会議（１回／月）
- ・サービス担当者会（随時）
- ・雲南地域訪問介護部会（１回／月）
- ・障がい者支援協議会（１回／月）
- ・課内職員会（１回／月）
- ・地域福祉サービス内部会議（１回／月）
- ・飯南町地域包括推進局介護、福祉部会（１回／月）

（４）研修会への参加 平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日

月 日	研 修 名	参加 人数	場 所
５／１８	平成３０年度ホームヘルパー部会研修会	１名	出雲市
６／２０	雲南地域訪問介護部会研修会	２名	雲南市
７／２	平成３０年度島根県老人福祉施設協議会 第１回総会	１名	松江市
７／１９	自立支援に向けての研修会	３名	飯南町
８／２１	平成３０年度認知症ケア研修会	１名	出雲市
９／１４	平成３０年度第１回雲南圏域高次脳機能障害支援研修会	２名	飯南町
１１／５	第２９回島根県老人福祉施設協議会研修大会	１名	松江市
１１／２０	平成３０年度介護福祉部会研修会「職種別研修」	１名	飯南町
１１／２１	雲南地域訪問介護部会研修会「医療との連携について」	１名	雲南市
１２／１	地域ケアフォーラム 2018 テーマ「地域包括ケアを身近に」	１名	飯南町
１２／３	施設内研修「感染症の対応について」	４名	社協内
１２／１１	地域包括ケア推進介護福祉部会研修会	２名	社協内
１２／１９	雲南地域訪問介護部会研修会「障がいの特性について」	１名	雲南市
H31 1 /23	雲南地域訪問介護部会研修会「介護保険下のヘルパーの特性」	２名	雲南市
３／９	平成３０年度 ホームヘルパー協会中央集会	１名	出雲市
３／１９	平成３０年度介護保険集団指導	１名	出雲市
３／２０	平成３０年度障がい者サービス事業所説明会及び集団指導	１名	松江市

2. 利用実績

(1) 介護保険（要介護1～5・要支援1、2・事業対象者）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実利用者数		31	31	28	25	26	28	27
1日平均訪問回数		7.5	7.9	6.4	6.0	6.3	7.7	7.3
身体 介護	訪問回数	95	83	48	37	50	64	63
	実働時間	56 : 35	54 : 35	36 : 00	29 : 55	35 : 20	38 : 40	36 : 15
身体＋ 生活	訪問回数	5	8	10	15	11	15	20
	実働時間	53 : 50	41 : 45	39 : 45	25 : 10	34 : 55	29 : 50	37 : 15
生活 援助	訪問回数	39	44	43	41	41	38	41
	実働時間	36 : 07	43 : 27	43 : 05	45 : 39	42 : 21	43 : 38	50 : 14
要支援 Ⅰ・Ⅱ	訪問回数	62	68	58	58	65	57	62
	実働時間	58 : 02	63 : 12	53 : 56	53 : 56	59 : 45	52 : 24	57 : 23
事業対象	訪問回数	21	22	24	26	23	28	32
	実働時間	19 : 24	20 : 16	22 : 39	24 : 23	21 : 08	26 : 06	29 : 33
合 計	訪問回数	222	225	183	177	190	202	218
	実働時間	173 : 26	186 : 37	162 : 45	162 : 17	165 : 36	168 : 19	185 : 41

		11月	12月	1月	2月	3月	月平均	前年度平均
実利用者数		29	30	26	27	27	27.9	33.6
1日平均訪問回数		7.1	7.8	6.1	6.5	7.0	6.9	6.9
							年間 合計	前年度 年間計
身体 介護	訪問回数	60	85	70	55	78	788	817
	実働時間	41 : 00	48 : 25	42 : 10	33 : 25	46 : 00	498 : 20	465 : 25
身体＋ 生活	訪問回数	25	23	22	34	43	231	330
	実働時間	27 : 55	26 : 20	25 : 10	38 : 40	48 : 25	266 : 00	392 : 30
生活 援助	訪問回数	32	25	18	9	7	378	637
	実働時間	28 : 14	21 : 27	15 : 35	7 : 31	5 : 52	334 : 23	564 : 07
要支援 Ⅰ・Ⅱ	訪問回数	51	50	55	52	58	696	778
	実働時間	47 : 14	46 : 23	50 : 41	48 : 06	53 : 16	445 : 12	717 : 16
事業 対象者	訪問回数	36	19	18	20	21	290	392
	実働時間	33 : 39	17 : 41	16 : 49	18 : 33	19 : 24	209 : 50	361 : 56
合 計	訪問回数	204	202	183	170	207	2,383	2,954
	実働時間	178 : 02	160 : 16	150 : 25	146 : 15	172 : 57	1,763 : 45	2,501 : 14

(2) 障がい者自立支援（居宅介護）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
実 利 用 人 数	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	33
身体日中 延 時 間	7:00	8:30	11:30	10:00	10:30	10:30	10:00	12:00	11:00	9:30	11:00	12:30	124:00
家事日中 延 時 間	2:00	2:30	3:30	3:00	2:30	2:30	3:00	4:00	3:00	2:30	3:00	2:30	34:00

3. 職員の健康管理・・・年一回以上の健康診断、予防接種の実施、検便の実施
感染予防の実施（手洗い、マスク着用、うがいの励行）
訪問中の事故に合わないよう気を付ける。

4. 苦情受付
ありません。

5. 訪問利用状況

前年度まで毎日のように訪問を行っていた一人暮らしの方の家族が帰省され、終了となるケースや、冬期間はご家族のところへ行かれるケースもあり、「身体+生活」でのサービスが減少しました。

また、要介護4、5の利用者が在宅で過ごされ、排せつ、食事介助のサービスが増加しましたが入院、入所、死亡等のため短期間での利用となるケースもあり減少の一因となりました。全体に、利用者は減少傾向にありますが、病状や家族関係等難しい方もおられサービス内容に工夫した支援が必要になってきています。

さらに男性の一人暮らしの利用者が増えつつあり、ヘルパー2人での訪問や男性ヘルパーでの対応など工夫し支援しました。

Ⅳ. 特別養護老人ホーム あかぎの里

1. 利用実績

【入所 43床】

	入所者	退所者	入院実人数	利用延日数	稼働率
4月	1	0	2	1,174	91.0%
5月	1	1	3	1,210	90.8%
6月	1	3	4	1,145	88.8%
7月	4	0	2	1,234	92.6%
8月	0	2	3	1,242	93.2%
9月	1	0	0	1,225	95.0%
10月	1	0	1	1,292	97.0%
11月	0	0	1	1,242	96.3%
12月	0	0	3	1,297	97.3%
1月	0	0	3	1,309	98.2%
2月	0	0	2	1,161	96.4%
3月	0	0	5	1,279	95.9%
平均・合計	9.0	6.0	2.4	1,234	94.4%
前年度	6.0	8.0	3.0	1,215	92.8%

新規入所者	要介護1	0
	要介護2	0
	要介護3	1
	要介護4	4
	要介護5	4

退所理由	非該当	0
	救急搬送	1
	病院での逝去	0
	退院見込なし	3
	施設看取り	2

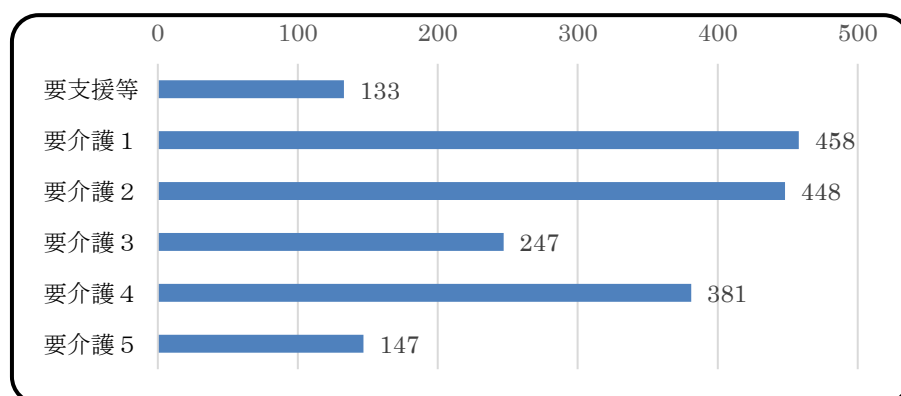
【短期入所 7床】

	利用延べ 人数	1日平均 利用者数		利用延べ 人数	1日平均 利用者数
4月	97	3.2	11月	160	5.3
5月	139	4.5	12月	195	6.3
6月	165	5.5	1月	149	4.8
7月	119	3.8	2月	150	5.4
8月	152	4.9	3月	186	6.0
9月	153	5.1	平均・合計	1,814	4.97
10月	149	4.8	稼働率	71.0%	

前年度 52.9%

◎介護度別利用状況（短期入所生活介護）

要介護度	年間延べ利用日数
要支援等	133 日間
要介護 1	458 日間
要介護 2	448 日間
要介護 3	247 日間
要介護 4	381 日間
要介護 5	147 日間



2. 主な状況報告

平成30年度は介護報酬の改定、法人内部の人事異動等、年度当初から変化と動きの多い一年となりました。また、新卒職員も加わり「エルダー制度」への試験的導入や、年度後半には「業務改善委員会」を立ち上げ、生産年齢人口減少に対応していくため、また、働きやすい職場作りと業務の効率化、そしてサービス低下を招かないことを念頭に協議を重ねて、少しずつではありますが効果が見られるようになりました。

また、新卒職員や異動してきた職員も初夏の頃には業務にも慣れ、平成29年度の利用制限をすべて解除することができ、人的確保が稼働率に顕著に結びついています。

しかし、人口減少や離職・高齢化もあることから、「働き方」や「労働条件の向上」については一層努力していかなければならないと再認識した年となりました。

施設も建設から21年を経過し、修繕や備品の更新等の費用が年々増加しており、早期に対応すべきことには対応してきましたが、次年度以降も優先順位をつけ計画的かつ必要な投資を見極めながら執行していくことになります。

入所待機者の状況は増加傾向にあり、最近では近隣の市町からの短期入所を含んだ利用申し込みも目立つようになりました。逆に、一刻を争う入所を希望される方は比較的大きい市で有料施設等へ一時入所される方もありますが、経済的負担も大きくなる場合も多く、やはり住み慣れた町の「特養」の維持・安定経営は我々の使命であると重く受け止め「負担あってサービスなし」という状況を招かないよう最善を尽くします。

3. 会議

- 主任・リーダー会（内部：毎月1回）
- 各グループ会（内部：毎月1回）
- 高齢者サービス調整会議（外部：毎月1回）
- 飯南町地域包括ケア推進局 介護福祉部会（不定期）
- 飯南町福祉施設協議会 幹事会（1/2M）

- 雲南地域障がい者自立支援協議会
- 入所検討会議（平成30年度：3回開催）
- あかぎの里運営推進会議（年：6回）
- 業務改善のための施設内会議（年：計7回）
- 職員全体会（1/25、1/30）

4. 地域交流・ボランティア受け入れ

- シーツ交換ボランティア
- 書道ボランティア
- 喫茶ボランティア
- 赤来中学校2年生 福祉学習指導
- 飯南高校茶道部 納涼茶会
- 赤来中学校 吹奏楽部演奏会
- 商工会女性部ボランティア
- 飯南高校 JRC 部

5. 実習等受け入れ

- 4月25日 飯南高校福祉体験 2名
- 10月9日～ 石見養護学校生徒職場体験

6. 行事等

月 日	内 容
4月29日	平成30年度 あかぎの里家族会
6月 9日	あかぎの里 家族会環境整備
8月 3日	平成30年度 夏祭り
8月 8日	納涼茶会 飯南高校茶道部
10月20日	平成30年度 あかぎの里敬老会
12月19日	クリスマス・忘年会
12月25日	餅つき
1月21日	新年会

7. 内部研修

月 日	内 容
4月23日	新人職員研修（新人・異動者向け）
4月23日	アセスメント研修（施設ケアマネージャー）（第2回 4/25）
5月18日	体の仕組み・基本動作・トランスファー（施設ケアマネ） （第2回 5/21）
5月23日	歯科口腔研修（飯南病院 三上歯科医）（第2回 5/29）
6月20日	看取り研修（施設看護職員）（第2回 6/27）
7月 2日	介護ロボットの使用方法（メーカー）
7月23日	エアーマット使用に関する研修会（メーカー）
8月24日	感染症研修（雲南市立病院）（第2回 8/31）

10月17日	排泄ケア研修（メーカー）
10月24日	高齢者の虐待に関する研修（相談員）（第2回 10/29）
11月19日	感染症研修（雲南保健所）（第2回 10/27）
12月 6日	クッションの使い方（メーカー）（第2回 12/13）
12月14日	パットの種類と使い方（メーカー）
12月17日	褥瘡対策に関する研修（各主任）
1月18日	事故発生防止のための研修（松本嘱託医）（第2回 1/29）
3月 5日	事故発生防止のための研修（メーカー）（第4回 3/7）
通 年	経験年数別に1日内部研修（全常勤職員）

8. 研修・出張・会議参加状況

月 日	用 務 内 容	用務地
4月19日	新任職員マナー研修	松江市
4月19日	飯南町福祉施設協議会 総会	町内
4月23日	介護保険制度改正と社会保障のゆくえ	松江市
4月24日	プレミアム調理教室	松江市
4月25日	新人看護師研修 毎月1回	奥出雲
4月25日	地域包括ケアシステムの深化、地域共生社会の実現に向けて	町内
5月10日 ～（継続）	介護支援専門員専門研修過程Ⅰ・Ⅱ	松江市
5月25日	雲南地域介護サービス事業管理者連絡会 総会	雲南市
5月26日 ～27日	島根県国保地域医療現地研修会	町内
6月 1日	雲南地区福祉施設協議会 総会	雲南市
6月 5日 ～6日	権利擁護推進員研修	松江市
6月20日 ～（継続）	看護師新人研修	雲南市
6月20日	生活の場から見える拘縮ケアの実際	出雲市
8月30日	レクレーション研修	松江市
9月 8日	持ち上げないケアをするための動作	出雲市
9月19日	嚥下食まるごと実演セミナー	松江市
9月20日	保安講習（危険物取扱）	出雲市
10月3日 ～4日	飯南町福祉施設協議会視察研修（外国人雇用）	伊丹市
10月 4日	医療的ケア研修	松江市
10月 4日	人権擁護研修	松江市

10月5日	感染症研修会	雲南市
10月12日	中堅職員スキルアップ研修	浜田市
10月20日	褥創ケアセミナー	出雲市
10月23日	プレミアム調理教室	松江市
10月27日	看取り研修プログラム	松江市
11月27日	採用活動向上支援セミナー	出雲市
11月28日	排泄ケアセミナー	出雲市
11月29日	リスクマネジメント研修	松江市
11月28日 ～29日	雲南地区福祉施設協議会 視察研修	神戸市
12月3日	雲南広域連合 運営会議	雲南市
12月12日	高齢者虐待防止研修	松江市
12月16日	緩和ケア 多職種研修会	雲南市
2月20日 ～21日	キャリアパス導入支援研修	松江市
2月26日	人権研修	出雲市
3月19日	平成30年度介護保険施設集団指導（島根県主催）	出雲市
3月27日	平成30年度介護保険施設集団指導（広域連合主催）	雲南市

9. 監査等

8月21日	社協 内部監査（運営状況・預かり金）
10月2日	島根県高齢者福祉課 実地指導
11月19日	医務室立入検査（雲南保健所）
2月14日	社協 内部監査（業務執行状況・課題）

10. 苦情受付・・・1件

サービス種別：	短期入所生活介護（ショートステイ）
苦情申出人：	利用者の家族
苦情内容：	ショートステイから帰宅後、荷物を見るとご利用者が気に入っていたポロシャツが1枚足りないことに気づかれる。すぐに電話をかけられたが電話を受けた職員は、わかりませんと返答した（後にこの電話は福祉センターにかけられたことが判明した）。3日後、再度あかぎの里にどうなっているか電話をされ、職員で探し、同室であった他の認知症を罹患されている利用者が着ておられることに気づき、担当職員が申出人に謝罪の電話をした。

処理経過：	苦情が入ってから4日後に施設長に報告があった。すぐに自宅に出向き、説明と謝罪をした。プロとして自覚を持ってほしいとご指摘をいただいた。今後、ご利用の際は、個室か同室になられる方を考えさせていただくことを約束するとともに、衣類の弁償を申し出たが、弁償は望まないとの回答であった。
結果：	結果としては、今後も利用くださることになったが、まず発生してから4日後に施設長へ報告があったことが最大のミスであった（この期間は連休であった）。問題が起これば、大小関わらず休みの日でもすぐに報告するように周知するとともに、荷物のチェックの方法について、現場で検討するよう指示した。

V. 居宅支援課

1. 職員体制

- (1) 介護保険 介護支援専門員 3名：常勤換算数 2.5人（兼務1名 専従2名）
(2) 障害支援 相談支援専門員 1名（兼務）

2. 利用状況

(1) 介護保険利用者実績

30年	事業 該当	支援 1	支援 2	支 援 合 計	前年 合計	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	介 護 合 計	前年 合計
4月	9	15	11	35	29	20	20	10	6	2	58	70
5月	9	16	11	36	25	20	20	13	5	3	61	67
6月	11	14	11	36	30	18	21	13	7	2	61	67
7月	11	14	11	36	31	17	21	11	5	1	55	66
8月	11	13	11	35	31	18	21	12	6	1	58	64
9月	11	13	11	35	34	17	22	12	6	1	58	66
10月	11	14	11	36	34	18	22	11	7	1	59	69
11月	10	13	9	32	35	18	23	10	7	1	59	68
12月	12	14	9	35	34	17	25	10	8	1	61	65
1月	12	12	9	33	35	15	23	7	6	2	53	63
2月	11	11	9	31	32	19	31	7	6	3	66	66
3月	12	12	8	32	35	20	35	11	7	4	77	61
合計	130	161	121	412	385	217	284	127	76	22	726	792
平均	10.8	13.4	10.1	34.3	32.2	18.1	23.7	10.6	6.3	1.8	60.5	66
前年 平均	9.3	14.1	8.8			24.9	22.4	11.4	4.6	2.7		

1) 介護保険利用者割合 (%)

	事業該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
30 年度	11.4	14.1	10.6	19.1	25.0	11.2	6.7	1.9
前年度	9.5	14.4	8.8	25.4	22.9	11.6	4.7	2.7

2) 新規件数

新規 : 36 件	要支援 1 件	事業該当	0	要介護 35 件 (うち 16 件は 愛寿園より 居宅変更)	要介護 1	13
		要支援 1	1		要介護 2	16
		要支援 2	0		要介護 3	6
					要介護 4	0
					要介護 5	0

疾患別新規利用者数

脳血管疾患	悪性腫瘍 難病	認知症	骨折後	閉じこもり	加齢による低下	障害より移行
2	2	2	1	1	10	2

3) 終了件数

終了 : 24 件	要支援 1 件	未更新	1	要介護 23 件	施設入所	9
					死去	9
					居宅変更	5

4) 介護認定訪問調査

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
件数	4	6	2	5	4	1	1	2	0	2	5	6	38 件	3.16 件

○前年度平均…4.7 件

(2) 障害者相談支援実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
プラン作成	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	4 件
モニタリング	1	2	1	0	2	1	1	2	0	1	0	0	11 件

○契約件数 … 4 件

3. 運営状況

(1) 状況報告

1) 運営管理状況

- ・年度前半は、新規申請者の多くが軽度者で、地域も偏りがあり介護の新規利用が増えませんでした。長期入院などもあり前年度と比べ平均 6 件減少しました。
- ・町内の居宅介護支援事業所の休所に伴い、3 月以降 40 ケースを引き継ぐこととなりました。
- ・資格者の継続確保は当法人としても課題です。

2) マネジメント状況

- ・介護者の高齢化、就労等により、泊りや通いの通所系サービスの希望が多くありました。長期入所は施設の制限がある中、他の施設も動きが少なく、在宅が困難な方は町外の施設へ行かざるを得ず、ご本人、ご家族にも心理的、経済的負担が大きくなりました。
- ・認知症の進行や転倒などでレベル低下され、在宅が不安な一人暮らしや高齢夫婦世帯についても、施設を申請されるケースが増えました。軽度者の施設では対象外であったり特養への特例申請となる介護2レベルの方々は生活の場がなく、在宅サービスも事業所の定員や職員不足により受け入れが難しいなど支援体制に苦慮する時期もありましたが、都度、状況に合わせて利用できるサービスやご家族の協力を組み合わせたり、事業所の受け入れ検討を求めながら調整していきました。
- ・医療との連携については、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するため、入退院時マニュアルに沿い連携を強化し、利用者の安心感につながるよう努めました。
- ・認知症の世帯、介護者や家族に障害や精神疾患がある経済的困窮など、他問題を抱える世帯については包括支援センターをはじめ保健師、福祉事務所等関係機関と常に連携しながら対応を行っています。
- ・障害からの介護保険へ移行されるケースもここ数年継続してあります。障害の特性により事業所の変更や制度自体の違いに戸惑われることもあります。スムーズなサービス移行ができるよう今後も移行前段階での早期介入や特性に合ったプラン内容の検討をしていく必要があります。

4. 事業状況

(1) 介護居宅支援特定事業所加算 (Ⅲ) 算定体制

1) 特定事業所加算に係る基準の順守

- ①利用者に関する情報、処遇対応の検討、プラン作成に関すること、サービス提供にあたっての留意事項にかかる伝達を目的とした会議を開催しました。

毎月曜日・木曜日	ミーティング・所内定例会
----------	--------------

- ②24時間連絡相談受け入れ体制確保
夜間、休日は輪番制による携帯電話での相談対応を行いました。
- ③計画的研修の実施
介護支援専門員、個別の研修計画を作成し計画的に研修を実施しました。
- ④困難事例の受け入れ体制確保
包括支援センターと受け入れ時の対応を協議しながら、支援受付けを行いました。
- ⑤介護支援専門員一人当たりの担当件数40名未満
平均35件以内で担当しました。
- ⑥介護支援専門員実務研修における実習受け入れ
平成30年度は該当者なし。

2) 各種会議・研修の開催・参加状況

①各会議の開催と参加

- ・定例会議 (課内・法人)

月1回	課内会議	月1回	地域福祉サービス内部会議
・所外会議			
月1回	高齢者等サービス調整会議	月1回	行政が開催する事例検討会等
月2回	地域ケア会議 (医療)	月1回	飯南町自立支援協議会連絡会
月1回	飯南町居宅介護支援部会		

②計画的研修に沿った研修実施

月日	研修先	内容	参加者
5/22	雲南市	雲南地域居宅介護支援部会管理者会	1名
6/27	雲南市	雲南地域ケアマネ協会・居宅部会研修会	1名
6～8月	松江市	主任介護支援専門員研修	1名
7/19	飯南町	自立支援型ケア研修会	3名
9～11月	松江市	介護支援専門員更新研修	1名
9/14	飯南町	雲南圏域高次脳機能障害者支援研修会	1名
10/18	雲南市	雲南地域居宅部会研修会	1名
10/20	雲南市	雲南地域ケアマネ協会研修会	1名
12/1	出雲市	島根県ケアマネジャー研究大会	3名
12/4	松江市	主任ケアマネフォローアップ研修	1名
2/12	飯南町	入退院時の他職種連携についての研修会	1名
2/21	雲南市	多職種連携による地域ケア個別会議研修会	1名
3/17	出雲市	難病医療等従事者研修会	1名
3/19	飯南町	日常生活自立支援に関する研修	1名
3/27	雲南市	介護サービス事業所集団指導	1名

(2) 運営基準（基準第13条関係）の遵守

介護支援業務の実践を自己、他者とで点検を行い適正な介護請求事務を行いました。
内部監査（2回）

(3) 事業所自己評価の実施

雲南地域介護サービス事業居宅介護支援部会で実施している評価項目をもとに自己評価を行いました。

5. 苦情受付

ありません。

V-1 総合相談業務(包括支援センターブランチ業務)

1. 事業状況

(1) 相談業務実績

No.	相談方法		相談内容	対応
1	訪問	本人	独居 物忘れ、外出サービス希望	事業対象→包括へつなぐ
2	来所	家族	福祉用具の相談	要支援相当→介護保険説明し包括へつなぐ
3	訪問	家族	介護相談 デイ利用について	介護申請 利用契約
4	来所	家族	障害(若者) 介護相談	購入助成の説明 →福祉事務所へつなぐ
5	来所	家族	障害(若者) 介護相談	用具の貸し出し
6	来所	本人	独居 食生活についての相談	配食サービスの利用
7	電話	本人	福用具相談	助言・情報提供
8	電話	家族	介護相談 筋力低下による用具活用	→包括へつなぐ

9	来所	本人	介護予防について	予防事業の説明と受診の勧め。→包括へつなぐ		
10	訪問	家族	介護相談 体力低下閉じこもり	介護保険説明、サービス利用の紹介		
11	訪問	本人・家族	障害(若者) 福祉用具について	→福祉事務所へつなぐ		
12	来所	知人	体力低下、自宅環境整備について	訪問し状態確認→包括へつなぐ		
13	来所	近隣住民	老夫婦世帯 介護負担	→包括へつなぐ		
14	来所	家族	介護用品について	選定の助言		
15	訪問	本人	独居 生活相談	介護認定の説明、サービス紹介		
相談件数		15 件	介護認定申請	1 件	居宅サービス利用契約	1 件

1) 相談状況

福祉用具の相談や閉じこもり予防のため、デイサービスの利用などの相談が多くありました。受け付けた相談は包括支援センターと連携しながら処遇対応を行い、必要によって定期的に訪問しサービス利用の啓発、経過の見守りを行っています。今後も地域住民の方が相談しやすく、より多くの相談対応ができるよう事業活動のアピールを図っていきます。また、法人内での相談ケースや地域課題を共有し必要な事業の検討などを行っています。

(2) 家庭介護者交流事業

1) 介護者リフレッシュ交流会の開催

開催月日	内容	参加者
1 回目 10 月 23 日 (火) 10 : 00 ~ 15 : 30 場所: 三次市	「三次ワイナリー 奥田玄宗小由女美術館見学」	介護者 5 名 (新規 2 名) スタッフ 包括 1 名・社協 1 名
2 回目 3 月 8 日 (金) 10 : 00 ~ 14 : 30 場所: 頓原交流会館	「ハンドケア」 包括支援センター 田中看護師 「茶話会」 包括スタッフを交え交流会	介護者 12 名 (新規 4 名) スタッフ 包括 3 名・社協 2 名

2) 事業状況

1 回目：新規 2 組、2 回目：新規 4 組

気軽に参加していただけるよう包括支援センターや各担当ケアマネジャーより呼びかけをして頂きました。毎回参加される方はお互いに顔なじみになられ、交流によりストレス解消、気分転換をされました。対象者が軽度者の家族が増えていることで、介護のストレス具合や悩みもさまざまのようです。介護者の方がリフレッシュできたり、介護の悩みが相談しやすい場を提供できるよう、ニーズ調査や多様な情報提供を検討していきます。

(3) 各関係機関との連携

包括支援センターとの連携	毎週	包括支援会議の情報共有
各種会議の開催・参加	月1回	介護予防推進会議
	随時開催	法人内での地域高齢者の情報や地域課題共有を目的とした連絡会

VII. 保育所

1. 平成30年度児童数異動一覧・・・47頁

＊平成30年度 育了児童数

保育所名	赤名保育所	来島保育所	桜ヶ台保育所	さつき保育所	合計
育了児童数	10名	8名	10名	2名	30名

2. 実施した主な行事

開催月	内 容
4月	入所式、交通安全指導
5月	親子バス遠足、徒歩遠足、地域行事参加、地域開放日
6月	保育公開日（参観日）、奉仕作業
7月	プール開き、川遊び、七夕会、地域行事参加、地域開放日
8月	プール遊び、川遊び、お話キャラバン隊、飯南高校「鵬雲祭」参加
9月	運動会、小中学校運動会参加、奉仕作業
10月	遠足、公民館行事参加
11月	造形作品展出展、劇団「はぐるま座」公演、地域開放日
12月	お楽しみ会、クリスマス会、高齢者施設訪問
1月	新年こども会、もちつき交流会、地域開放日、理科読公演会
2月	節分豆まき、保育公開日（参観日）、劇団「風の子」公演
3月	ひなまつり会、お別れ会、交通安全指導、育了式

＊その他

- ・自然体験活動・・・各保育所月1回実施
- ・避難消火訓練、身体測定、誕生会・・・月1回実施
- ・地域開放日・・・年6回

- ・内科健診、歯科検診・・・年2回
- ・尿検査（4～5才のみ）・・・年1回
- ・クラス懇談会・・・年1回
- ・実習生、中学生職場体験学習、高校生福祉体験学習受け入れ
- ・地域交流会

3. 職員研修会の参加

開催月	飯南町保育所合同	雲南保育協議会	県社協、県保協	その他の研修
4月		施設長会 保育士部会	新任職員研修	
5月		雲南保育研究会総会 研究委員会		
6月	離乳食研修 (食のアトリエ bene)	施設長会 調理担当者会 語る会 (未満児) 語る会 (4・5歳児)	県保育協議会総会 主任保育士研修	保育所指導 者研修会
7月	改定保育指針研修 (県幼児教育センター)	研究委員会 実技研修 語る会 (療育)	施設長研修 新任職員研修会 新任保育士研修会 中国大会	子ども支援 に係る保育 所・学校関 係者連絡会
8月	実技研修 (プール指 導)	保育士部会 実技研修 (絵画)	食育研修 キャリアアップ研修 (乳児保育)	造形教育夏 季研修
9月		施設長会 調理担当者会 公開保育 (たちばら)	キャリアアップ研修 (障がい児)	
10月		公開保育 (赤名) 実技研修 (自然観察) 語る会 (保健) ブロック別研修会		
11月	さくら教室研修会 (さくら教室)	施設長会 調理担当者会 公開保育 (馬木)	造形作品展 島根県保育研究大会 キャリアアップ研修 (食育)	
12月		研究委員会		
1月	ふるさとシンポジウ ム	調理担当者会 施設長会		
2月		施設長会 理事会		

* 人権研修について

平成30年度は町内の各機関が主催される「人権研修」に分散して参加するということで、保育所職員も都合がつくところの研修に参加するようにしたため、全職員が参加できました。

4. 各種会議の開催

- ・定例所長会・・・月1回
- ・定例主任会・・・月1回
- ・職員会議（各保育所で実施）・・・月1～2回
- ・苦情処理第三者委員との情報交換会・・・2月

5. 子育て支援センター活動報告

集いの広場「ほっと café」開催・・・毎週1回（水曜日）

<「ほっと。C a f e」利用状況>

月	利用数	月	利用数	月	利用数
4月	32組	8月	35組	12月	21組
5月	42組	9月	37組	1月	29組
6月	44組	10月	30組	2月	27組
7月	40組	11月	34組	3月	16組

利用者数合計：371組 月平均：31組 1回平均8組

<平成30年度活動内容>

月	活 動 内 容	備 考	参加数
4月25日	食講座（離乳食）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	8組
5月 2日	親子読書お話会	指導：県立図書館	6組
5月16日	ベビーマッサージ	指導：須山助産師（雲南市）	8組
5月30日	リフレッシュ講座	指導：しまねコーチズ	13組
6月13日	離乳食講座	指導：食のアトリエ bene	14組
6月27日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	9組
7月18日	食講座（離乳食）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	7組
7月25日	水あそび	指導：支援センター担当者	13組
8月 1日	水あそび	指導：支援センター担当者	8組
8月22日	食講座（おやつ）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	7組
9月 5日	親子読書お話会	指導：県立図書館	8組
9月19日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	7組
10月 3日	ベビーマッサージ	指導：須山助産師（雲南市）	8組
10月24日	食講座（離乳食）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	4組
11月21日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	4組
11月28日	シェルハブメゾット	指導：高尾明子氏	12組

1 2 月 1 9 日	食講座（おやつ）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	9 組
2 月 2 0 日	リフレッシュ講座	指導：しまねコーチズ	7 組
2 月 2 7 日	食講座（大人）	指導：保健福祉課栄養士、保健師	6 組

6. ファミリーサポートセンター

おねがい会員・・・13名 まかせて会員・・・17名
 利用回数・・・・・・23回

7. 保育士確保対策事業

①保育士養成校への募集案内

< 1 回目 >

実施日：平成30年5月7日
 訪問校：島根県立短期大学部 松江キャンパス
 山陰中央専門大学校
 島根総合福祉専門学校松江学園南キャンパス
 鳥取短期大学

< 2 回目 >

実施日：平成30年5月17日
 訪問校：広島市 比治山大学短期大学部

< 3 回目 >

実施日：平成30年9月13日
 訪問校：出雲コアカレッジ
 トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校
 島根県立大学短期大学部 松江キャンパス
 山陰中央専門大学校
 島根総合福祉専門学校松江学園南キャンパス

②保育体験事業（地域振興課人材確保センターと共同で実施）

実施日：平成30年8月21日～23日
 保育関係参加者：3名

8. 苦情受付

ありません

平成30年度 保育所入所・退所児童一覽表

	桜ヶ台保育所						さつき保育所						赤名保育所						来島保育所					
	0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計		0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計		0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計		0歳	1・2歳	3歳	4歳以上	計	
4月1日	0	16	11	21	48	✓	0	2	4	4	10		1	17	2	24	44		1	14	4	12	31	
4月異動		1			1		-1				-1			1			1					2	2	
4月末日	0	17	11	21	49	✓	0	1	4	4	9	✓	1	18	2	24	45	✓	1	14	4	14	33	
5月異動					0						0						0						0	
5月末日	0	17	11	21	49	✓	0	1	4	4	9	✓	1	18	2	24	45	✓	1	14	4	14	33	
6月異動	0				0			1			1		-1				-1		1				1	
6月末日	0	17	11	21	49	✓	0	2	4	4	10	✓	1	17	2	24	44	✓	2	14	4	14	34	
7月異動	1				1						0		1	2	1	1	4					-2	-2	
7月末日	1	17	11	21	50	✓	0	2	4	4	10	✓	1	18	4	25	48	✓	2	14	4	12	32	
8月異動		1		1	2		1				1		2				2		2				2	
8月末日	1	18	11	22	52	✓	1	2	4	4	11	✓	3	18	4	25	50	✓	4	14	4	12	34	
9月異動	2	-1			1		1	1	1		2						0		1				1	
9月末日	3	17	11	22	53	✓	1	3	5	4	13	✓	3	18	4	25	50	✓	5	14	4	12	35	
10月異動	1	1			2					2	2		2				2		1		1		2	
10月末日	4	18	11	22	55	✓	1	3	5	6	15	✓	5	18	4	25	52	✓	6	14	5	12	37	
11月異動	1				1			-1			-2						0						0	
11月末日	5	18	11	22	56	✓	1	2	4	6	13	✓	5	18	4	25	52	✓	6	14	5	12	37	
12月異動					0					-2	-2						0						0	
12月末日	5	18	11	22	56	✓	1	2	4	4	11	✓	5	18	4	25	52	✓	6	14	5	12	37	
1月異動					0		1	-1			0						0						0	
1月末日	5	18	11	22	56	✓	2	1	4	4	11	✓	5	18	4	25	52	✓	6	14	5	12	37	
2月異動					0						0		1			1	2						0	
2月末日	5	18	11	22	56	✓	2	1	4	4	11	✓	6	18	4	26	54	✓	6	14	5	12	37	
3月異動	-1	-1			-2						0		-1				-1						0	
3月末日	4	17	11	22	54	✓	2	1	4	4	11	✓	5	18	4	26	53	✓	6	14	5	12	37	

